

極東海運実業株式会社

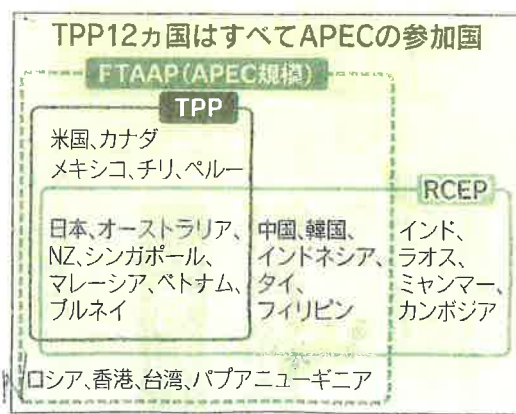
マーケットレポート 2015 年 12 月

Monthly Market Report December 2015



IS: International Safety?

海難事故がある度、HARDWARE であれ、SOFTWARE であれ、船舶の安全運航に係る規制が厳しくなります。それを反映してその分、船価が高くなれば船主経済を圧迫します。傭船者がそれ相応分を用船料で make up してくれるとは限りません。あまりエスカレートすると健全なサプライチェーンが壊れてしまいます。以前、JG CLASS の貨客船を IACS CLASS (BV) に改造して海外売船したことがありました。SOLAS に規定される或る安全規制については海難事故で多くの犠牲者が出るたびに、長年に亘って改訂されており、その内容は長い枝番で付記されていました。最後の枝番においてはコスト面で世界のフェリー事業が成り立たない程のコスト増となり規制が枝番一つ逆戻りしているのを発見。人命の安全、環境汚染防止は重要なテーマではありますが、それに関わるコスト UP が事業として成り立たないレベルになるのであれば、やはりリスクを負わなければなりません。近年、この種規制が頻繁に発令され、内容も大型になってきています。各国で批准されておりますが、現場に落としても“LEGALLY VALID, BUT COMMERCIALY INVALID”にならないよう接点を事前に配慮しなければなりません。



さて、海運市況ですが、タンカーは好調、ドライは低迷のまま年を越すこととなります。琴平でも参拝してドライの好転を祈願しましょうか？ 今年は、COP21 とか TPP とか G20 とか、先進国、新興国、後進国が集い有意義な会議を多く観ました。締結したものもあり、目下、交渉中のものもあります。要するに、多くの国が集まり仲良く、前向きに歩いているような印象を受けます。日本はEUとも自由貿易協定（TPPのEU版）の為交渉中でもあります。世界的に関税が緩和、撤廃

され、何かしら世界の物流がより盛んになるような気配を感じます。個々の海運業、造船業においては或る程度の縮小、あるいは合併等はあっても明るい近未来に期待しつつ、これらの動きを観察しておく必要があります。

積もった塵、埃を一掃して、良いお年をお迎え下さい。

2015年12月成約

Name	Type	Size		Year	Country	US\$/Mill
Pacific Dolphin	Bulk	49047	Dwt	1996	Japan	3.5
Pacific Primate	Bulk	49061	Dwt	1997	Japan	3.75
Pacific Scorpio	Bulk	49061	Dwt	1997	Japan	3.75
Furness Karumba	Bulk	52551	Dwt	2001	Japan	3.9
Santa Fe	Bulk	53553	Dwt	2001	Japan	3.3
Karavados	Bulk	50992	Dwt	2002	Japan	5.5
Westem Singapore	Bulk	52400	Dwt	2003	Philippines	5
Global Legacy	Bulk	52200	Dwt	2006	Japan	7.1
Sapphire Seas	Bulk	53702	Dwt	2006	China	5.2

以上 野田 著